

全建発第16～169号
平成16年8月20日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第492回建設技術講習会（建設リサイクル）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員9万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められております。

このたびの第492回建設技術講習会では、建設リサイクル法の適正な運用と、「建設リサイクル推進計画2002」に位置づけられた公共工事のゼロエミッション化等の施策により、建設廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再資源化）の推進が図られている中で、建設リサイクルの現状と課題、3Rの取り組みについて最新の情報を得るとともに、「建設発生土等の有効利用に関する行動計画」の進捗状況を学ぶことを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬 具



全建発第15～271号
平成15年12月19日

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 北 橋 建 治

(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成16年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただいております、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められます。例えば、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、国、特殊法人等及び地方公共団体は、「職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」の果たすべき役割は従来にも増して一層重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成16年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木道雄



第492回建設技術講習会（建設リサイクル）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成16年10月20日（水）～10月22日（金）高知県（高知市）において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、「建設リサイクル法の適正な運用と、「建設リサイクル推進計画2002」に位置づけられた公共工事のゼロエミッション化等の施策により、建設廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再資源化）の推進が図られている。建設リサイクルの現状と課題、3Rの取り組みについて最新の情報を得るとともに、「建設発生土等の有効利用に関する行動計画」の進捗状況を学ぶ。」ことを目的としています。

なお、本講習会は、国土交通省の後援のもと実施しています。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員 ... 7,600 円〔うち昼食代1,600 円（2 日分）〕
非会員 12,600 円〔 " 〕
（聴講のみ参加も可能です）

現 場 研 修 料：..... 6,600 円〔うち昼食代1,200 円〕
（現場研修のみの参加はできません）

申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
当日の講習会場での追加申し込みは受け付けできません。

申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ランディック藤井ビル7F
（社）全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

振込銀行口座：東京三菱銀行赤坂見附支店 普通預金口座 No.0311142
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会
お振込の際必ず、振込者の名義のはじめに、開催回数の「492」をつけ加えて下さい。

申 込 締 切 日：平成16年9月27日（月）必着（お申込みが締切日以降に到着したものは受理できない場合があります。）

取り消し・返金について

申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

【返金方法】

平成16年10月8日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成16年10月15日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記 を過ぎてからの取り消し	返金できません

テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。
事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度(CPDS)」に指定された講習会です。（CPDS 登録希望者及び受講認定を必要とする方には、会場で学習履歴登録手続きについてご案内します。）

第 492 回建設技術講習会（建設リサイクル）日程

—建設リサイクル法の適正な運用と、「建設リサイクル推進計画 2002」に位置づけられた公共工事のゼロエミッション化等の施策により、建設廃棄物の 3 R（発生抑制、再使用、再資源化）の推進が図られている。建設リサイクルの現状と課題、3 R の取り組みについて最新の情報を得るとともに、「建設発生土等の有効利用に関する行動計画」の進捗状況を学ぶ。—

会 場 高知県立県民文化ホール オレンジホール
〒780-0870 高知市本町 4-3-30 TEL 088-824-5321

敬称略

1 日目 平成 16 年 10 月 20 日（水）			
10:10 ↓ 10:30	あいさつ "	高知県知事 高知市長	橋 本 大二郎 岡 崎 誠 也
10:30 ↓ 12:00	建設リサイクルに関する今後の動向	国土交通省総合政策局事業総括調整官室 建設副産物企画官	柳 橋 則 夫
13:00 ↓ 14:00	ロジスティクス ⁽¹⁾ からみた建設副産物対策 「ロジスティクス」...原材料の調達から生産までの 物流管理システム。	早稲田大学アジア太平洋研究センター 教 授	椎 野 潤
14:10 ↓ 15:10	【特別講演】 過去の南海地震を学び活かす	高知大学理学部自然環境学科 教 授	岡 村 眞
15:20 ↓ 15:50	【地域における技術苦労話】 溶融スラグ利用指針の策定から運用について	高知県土木部都市整備課 課 長	佐 藤 寿 良
15:50 ↓ 16:10 ↓ 16:30	【地域事業の紹介】 高知駅鉄道高架事業について 天崎鍾乳洞保全事業について ～天崎鍾乳洞トンネル内に広がる神秘の世界～	高知県高知駅周辺都市整備事務所 技術次長 高知県伊野土木事務所工務第一課 工務第一班長	岡 本 敬一郎 西 原 滋
2 日目 10 月 21 日（木）			
9:50 ↓ 10:50	四国地方におけるリサイクルの最近の動向	国土交通省四国地方整備局 企画部 技術管理課長	矢 野 守
11:00 ↓ 12:00	産業廃棄物処理業界の取り組み	社団法人全国産業廃棄物連合会 調査部 次長	香 川 智 紀
13:00 ↓ 14:00	建設副産物のリサイクル技術開発の現状	独立行政法人土木研究所 技術推進本部 主席研究員	大 下 武 志
14:10 ↓ 15:10	不法投棄対策	千葉県環境生活部産業廃棄物課 市原分室 副主任	石 渡 正 佳
15:10 ↓	閉会のあいさつ	高知県建設技術協会長	久保田 一 水
地域の独自調査			
【現場研修】 3 日目 10 月 22 日（金）			

高知公園駐車場（8:30）出発 → 高知駅鉄道高架事業（下車説明）

→ 国道 195 号 J R 高架橋架設事業（下車説明） → 道の駅「やす」・「ヤ・シバーク」（下車説明）

→ 昼食〔高知市〕 → 四国横断自動車道四車線化事業〔大豊工区〕（下車説明）

→ 高知空港『高知龍馬空港』（16:10）着後解散 → J R 高知駅（16:40）着後解散

上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。
講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

C P D S 学習プログラム認定技術講習会

第492回建設技術講習会 現場研修事業の概要について

1 高知県鉄道高架事業 高知市栄田町地先

連続立体交差事業とは、市街地において連続して道路と交差している鉄道の一定区間を高架化し、多数の踏切の除去を一举に実現するものです。幹線街路以外にも多くの踏切が同時に除去されるため、踏切遮断による交通混雑の緩和や、踏切事故の防止がはかれます。また、県が連続立体交差事業、市が土地区画整理事業、県と市で関連街路整備事業を行うことにより、都市交通の円滑化ばかりでなく、市街地の分断解消など街づくりにとっても大きな期待がもてます。

2 国道195号 J R 高架橋架設事業 高知市布師田地先

一般国道 195 号は、高知県高知市から高知県徳島市に至る延長約 21.4 km の幹線道路である。道路改築事業高知バイパスは、路面電車と一部併走している現国道及び県道の交差点における慢性的な渋滞解消を目的とした延長 4.8 km の 4 車線（暫定 2 車線）道路である。

平成 5 年度より事業着手し、現在平成 15 年度より J R を跨ぐ布師田高架橋上部工を施工中である。

3 道の駅「やす」・「ヤ・シィパーク」 高知県香美郡夜須町地先

道の駅「やす」は、高知市から一般国道55号を約22km東進した県中央部東端に位置し、北側には平成14年6月開業の鉄道ごめん・なはり線が隣接するため、道路利用者はもちろん、鉄道利用者や地域住民の休憩・交流の場となる施設である。

また、道の駅「やす」は県下の規模を誇る海水浴場「ヤ・シィパーク」にも隣接すると共に、周辺には風光明媚な手結住吉県立自然公園、日本最古の堀込港湾である手結港など、数多くの名所が存在する。さらに、豊かな自然に恵まれ、メロンなどの施設園芸作物、シイラなどの水産物が特産物である。

道の駅「やす」は、道路利用者など道の駅を訪れる方に、いつでも自由に利用できる休憩の場を提供すると共に、当町をはじめ県下の観光スポットや特産品、道路情報などの情報提供を積極的に行っている。

4 四国横断自動車道四車線化事業（大豊工区） 高知県大豊町立川地先

四国横断自動車道の川之江～高知間は平成 10 年 3 月までに暫定 2 車線供用されている。高知自動車道では、平成 7 年 11 月の大豊～南国間を皮切りに四車線化が認可され、つづいて平成 11 年 1 月には川之江～高知間の全線が四車線化されることとなった。瀬戸内と高知平野を最短で結び急峻な四国山地を南北に貫くルートのため、新宮IC～南国IC間では、橋梁比率が 17%、トンネル比率が 63% となっている。四車線化されることにより、高速道路の定時制や安全性が大きく向上すると考えられ、交流人口の拡大などが期待されている。

第 492 回建設技術講習会の宿泊幹旋及び予約申込案内

宿 泊 料 金：宿泊希望者には高知市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。

送 金 先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169

銀行口座 東京三菱銀行八重洲通支店 普通預金口座№1015114

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14 (都民興業日本橋ビル 6F)

お振込の際は、振込者の名義の前に開催回数「492」を付け加えて下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店 Tel 03(3272)2411 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成 16 年 10 月 8 日 (金) までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
" 10 月 15 日 (金) までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

幹旋する宿舎名、宿泊料

平成 16 年 10 月 19 日（火）・20 日（水）・21 日（木）（1 泊朝食付、サービス料・消費税含む）

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	高知新阪急ホテル	高知市本町 4 - 2 - 5 0 TEL : 0 8 8 - 8 7 3 - 1 1 1 1	シングル	70 名	9,700 円
	オリエントホテル高知	高知市升形 5 - 3 7 TEL : 0 8 8 - 8 2 2 - 6 5 6 5		50 名	9,000 円
B	高知ワシントンホテルプラザ	高知市追手筋 1 - 8 - 2 5 TEL : 0 8 8 - 8 2 3 - 6 1 1 1		80 名	8,400 円
	サンライズホテル	高知市本町 2 - 2 - 3 1 TEL : 0 8 8 - 8 2 2 - 1 2 8 1		30 名	7,500 円
宿泊斡旋人数合計				230 名	

* 宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「[宿泊案内](#)」をご覧ください。

会場・宿舎案内図



会場（高知県立県民文化ホール）

高知市本町 4-3-30 電話 088-824-5321

高知駅より

- ・土佐電鉄路面電車「はりまや橋」乗換え
約20分、「県庁前」下車徒歩3分
- ・タクシーで20分



第 492 回建設技術講習会の団体航空幹旋便について

航空代金：希望者には団体航空便を下記のとおり幹旋いたします。

航空代金は幹旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意下さい。

航空便申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄に A ～ F を記入願います。

航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行(株)宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。

定員に達し次第締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 Tel 03(3272)2411 「全建担当デスク」

【往路】10月19日（火）講習会前日の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
A	東京（羽田） → 高知（高知龍馬） 14:45 16:00	ANA 5 6 5 （全日空）	30 席	17,500 円
B	東京（羽田） → 高知（高知龍馬） 16:45 18:00	JAL 1 4 8 7 （日本航空）	35 席	16,500 円
C	大阪（伊丹） → 高知（高知龍馬） 15:30 16:15	ANA 1 6 1 9 （全日空）	15 席	10,000 円

【復路】10月22日（金）現場研修当日の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
D	高知（高知龍馬） → 東京（羽田） 17:00 18:15	ANA 5 6 8 （全日空）	30 席	18,000 円
E	高知（高知龍馬） → 大阪（伊丹） 17:45 18:30	ANA 1 6 2 2 （全日空）	15 席	11,000 円

- ・上記代金には、航空保険特別料金（1 区間 300 円）が含まれています。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約 40 分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
- ・お乗り継ぎの場合、30 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・割引率は飛行機に時間帯（便）により異なります。

【団体航空便取消料】片道 1 席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）

記号	搭 乗 区 間	10/5～10/8 に取消した場合	10/9～10/14 に取消した場合	10/15 以降便出発ま でに取消した場合
A,B,D	東京(羽田) 高知(高知龍馬)	3,000 円	6,000 円	9,000 円
C,E	大阪(伊丹) 高知(高知龍馬)	1,000 円	2,000 円	3,000 円

- ・便出発後の取り消しの場合、一切払い戻しは出来ません。

平成16年 月 日

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____ 印 _____
(特別・賛助会員名)

第492回建設技術講習会(建設リサイクル)申込書

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現場研修	宿泊申込			航空便申込	
(フリガナ) 氏名 (女性の場合は番号に○囲みにして下さい)	年齢		正会員	非会員			A・Bを記入			往路	復路
										A～Eを記入	
							10月19日	20日	21日	10月19日	22日
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
聴講料							↑ 現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん	宿泊予約金			
正会員・特別会員・賛助会 名× 7,600円 = 円								泊× 4,000円			
" (昼食不要) 名× 6,000円 = 円											
非会員 名× 12,600円 = 円								航空便			
" (昼食不要) 名× 11,000円 = 円								往路 円			
現場研修料 名× 6,600円 = 円							復路 円				
計 円							計 円				

↓ 全建に振込

↓ 西鉄旅行㈱に振込

- お申し込み後の変更、取り消し、追加に関しては、本紙に変更、取り消し、追加箇所がわかるようにご記入いただき、再送と書いてFAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です(全建FAX03-3586-6640)。
- 申込の締切日は平成16年9月27日(月)です。

(昼食について)

昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。

当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。

現場研修の昼食について：

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。